

第1回第3次世田谷区立図書館ビジョン策定検討委員会会議録要旨

日 時：令和5年5月15日（月）午後2時00分～午後3時58分

場 所：教育会館3階大会議室「ぎんが」

出席者：池内委員（委員長）、松本（直）委員（副委員長）

飯島委員、開発委員、新海委員、坂委員

福岡委員、中垣委員、金子委員、前田委員

後藤委員、松本（幸）委員、知久委員、齋藤委員（事務局）

事務局（3名） 齋藤委員を含む

議事進行：齋藤委員（委員長選任まで） 池内委員（委員長選任以降）

< 議事 >

1. 開会

資料1「第3次世田谷区立図書館ビジョン策定検討委員会設置要綱」に基づき、設置目的、検討の主旨及び委員構成等の説明（資料2「委員会スケジュールについて」、資料3「策定検討委員会名簿」参照）

2. 委員紹介

自己紹介（資料3「策定検討委員会名簿」参照）

3. 委員長選任

委員長は池内委員、副委員長は松本（直）委員に決定

4. 有識者による講話

松本直樹 慶應義塾大学文学部准教授「今日の公共図書館の動向」

- （1）全体的な図書館の動向
- （2）読書活動の振興
- （3）デジタルの活用
- （4）社会的な取組

5. 資料説明

- （1）資料4「第2次世田谷区立図書館ビジョンによる取組」に基づき前期ビジョンの内容と取組状況の説明
- （2）資料5「計画の位置づけについて」に基づき、区の上位計画と図書館ビジョンの関係、計画期間の説明。上位計画である教育ビジョンが「（仮称）」

世田谷区教育振興基本計画」と改称し計画期間が５年間となったため、今回の第３次図書館ビジョンにおいては計画期間を５年間としたい。

(３) 資料６「次期図書館ビジョンのための論点」に基づき、策定にあたっての論点案を提案

(４) 資料７「(参考) 先進図書館及び取り組み事例紹介」、資料８「(参考) ユネスコ公共図書館宣言 2022」の概要説明

６．意見交換

< 主な意見及び質疑応答 >

・(委員) 商店街の記念冊子を作る際に、まちの貴重な写真がどんどん失われていっていることを知った。おじいちゃんが亡くなる前だったら写真があったのに棺桶に入れてしまったという話を方々から聞いた。世田谷区で組織的に収集しアーカイブ化してほしい。広報広聴課などいろいろなところに問い合わせたが、三軒茶屋という地域に限ると、ほとんど古い写真が見当たらない状況だった。重複があってもとっておくことが必要なのではないか。

・(委員) 第２次図書館ビジョンの基本方針２の大人の学びを豊かにする図書館に、「多様な学びの機会をつくる」という項目があり、その実績の中で「郷土資料館・世田谷文学館との共同展示」の記載があった。次期図書館ビジョンにおいても世田谷文学館との連携・協働を入れるよう、検討をお願いしたい。

・(委員) 第２次の図書館ビジョンでは、障害について取り上げているところが多かった。今日の有識者による講話及び資料６の論点案(５)では触れられている。次期ビジョンではぜひ障害への対応の問題に取り組んでもらいたい

・(委員) 世田谷区の小中学生で、いわゆる不登校、年間３０日以上学校に来ていない子は年間１,２００人を超え、急増している。その中には本やデジタルが好きで家でやっているという子もあり、図書館がそういった子たちの居場所になれないか。図書館が、行って本を読んだり探究的なことができたりタブレットを使ったりできる場所になれば、学校にいけない子も家を出てそこに行くことができる。ＩＣＴに関して分からないことがあれば質問できるといった場所になればいい。

学習スペースについて、子ども達の学ぶ場所として確保してもらえるとありがたい。

電子書籍は総合的な学習などの中で、本を見て調べたいとき皆が同時に同じ本を見ることができると学習が大変進む。

・(委員) 不登校の問題では、学校には行けなくとも、とにかく家を出よう、公園で散歩をしたり、という働きかけをすることもある。そういう子が公共図書館に出会うのは素晴らしいことだ。公立図書館も学校図書館も同様の機能を持つ

ているが、学校のほうはどうしても「知と学び」に特化してしまう。公立図書館のほうは「くつろぎと癒し」といった性格もあると感じる。そういうところも子どもたちにとって良いのではないか。

・(委員) 第2次ビジョンの取り組みについて資料4で説明があったが、達成状況や評価などもう少し詳しい説明はあるのか。また、第2次図書館ビジョンで策定したがまだ達成されていない事項、第3次でも重点的にやりたいなどというものはあるか。

・(事務局) この委員会とは別に図書館運営協議会というものが行われており、令和4年度に第2次図書館ビジョンの達成状況の評価をしていただいている。まだ正式に報告書という形では出ていないがこの策定検討委員会の中で報告・説明いただくことを検討している。

・(副委員長) 第3期のビジョンは計画期間が5年とのことだが、行動計画等は作る予定か。

・(事務局) 今回は5年と比較的短期のビジョンなのでそれをさらにブレイクした計画は作れないのではないかという考え方と、ビジョンはあくまで方向性を示すものなので、具体的な実施の計画は書ききれない、したがっていわゆる行動計画を作らざるをえないのではないかという考え方の二つがあり、まだ結論が出ていない。決定次第ご報告する。

・(委員) 大変貴重なご意見に謝意。特に不登校の課題については区でも様々なところで検討しているところである。居場所ということで、ほっとスクール、不登校特例校など、それなりの取り組みをしてきているが、どうしても追いついていけない。一方で文科省のほうでは、今回学校の中で子どもがくつろげるような場所を作れないかといっている。本日いただいた図書館の役割というところも持ち帰って検討していきたい。

とはいえやはり場所の問題というのはある。経済産業部で所管している旧池尻中学校の跡地の施設が立ち上がる。そういうところと連携し図書館等も取り組んでいきたい。今後、町会や商店街、PTAの方々と知恵を出していければありがたい。

7. まとめ

・(委員長) いただいた意見を踏まえて、次回は、第3次ビジョンの基本理念、基本方針について、具体的にどういう内容にするか検討していく。

8. 次回開催日

第2回策定検討委員会 6月21日(水) 午後2時～